

- 一、傍線部を口語訳せよ。
 1 今はほどなく夜も明けなむず。(保元物語)

- 二、次の助動詞の活用表を完成させ、それぞれ活用語の何形に接続するかも答えよ。
 1

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 基本形 | 未然形 | 連用形 | 終止形 | 連体形 | 已然形 | 命令形 | 接続 |
| む | ○ | ○ | | | | ○ | |

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 基本形 | 未然形 | 連用形 | 終止形 | 連体形 | 已然形 | 命令形 | 接続 |
| むず | ○ | ○ | | | | ○ | |

- 三、傍線部の助動詞の意味を答えよ。

- 1 男はこの女をこそ得めと思ふ。(伊勢物語)
 2 わが宿の花橘(はなたちばな)に時鳥(ほととぎす)今こそ鳴かめ友に逢へる時(万葉集)

- 四、傍線部の助動詞の活用形を答えよ。

- 1 時の間(ま)の煙(けぶり)ともなりなむとぞ、うち見るより思はる。(徒然草)
 2 この殿の父、討たれぬと聞いて、いかばかりか嘆き給はんずらん。(平家物語)

- 五、空欄に助動詞「む」を活用させて入れよ。

- 1 ししこらかしつる時は、うたて侍(はべ)るを、とくこそ試(こころ)みさせたまは()。(源氏物語)

- 六、空欄に助動詞「むず」を活用させて入れよ。

- 1 「遠き御守りでこそ候は()」。(平家物語)

- 七、傍線部の助動詞の意味を次のア～エから選べ。

〈ア〉推量 〈イ〉意志 〈ウ〉適当・勧誘 〈エ〉仮定・婉曲

- 1 思はむ子を法師になしたらむこそ、心苦しけれ。(枕草子)
 2 もし人手にかからば自害をせんずれば、(平家物語)

〔 〕
 〔 〕

〔 〕
 〔 〕

〔 〕
 〔 〕

〔 〕
 〔 〕

〔 〕
 〔 〕

〔 〕
 〔 〕

1 一、
明けるだろう

1 二、

| | |
|-----|-----|
| む | 基本形 |
| ○ | 未然形 |
| ○ | 連用形 |
| む | 終止形 |
| む | 連体形 |
| め | 已然形 |
| ○ | 命令形 |
| 未然形 | 接続 |

2 1 三、
意志
適当・勧誘

| | |
|-----|-----|
| むず | 基本形 |
| ○ | 未然形 |
| ○ | 連用形 |
| むず | 終止形 |
| むずる | 連体形 |
| むずれ | 已然形 |
| ○ | 命令形 |
| 未然形 | 接続 |

2 1 四、
終止形
終止形

1 五、
め

1 六、
むずれ(んずれ)

2 1 七、
イ エ